

悲。幾、處、寒、砧、聲、自、好。那、邊、玉、笛、調、方、奇。園、中、月、到、秋、蕭、寂。一、片、幽、情、在、菊、籬。

五十六

首々流暢、佳句似真山民

東郭批

紀念會詠章

人物從來有^ニ典型。學堂^ヲ絃誦最堪聽。鐵如品性隨^ニ陶冶。筆下文章發^ニ秀靈。舊館曾^レ存時習好。俊才今見^ル又^ル衿青。經營十歲誰能記。霽色^ノ群山擁^ニ戶庭。

落合爲誠

今村勝

十年此地^ニ養^ヒ材^ヲ。良^ク絃誦分明^ニ響^ク學堂^ニ。好^シ向^ニ龍山^ニ擬^セ標格^ヲ。凌^ク雲^ヲ松樹鬱蒼蒼。讀^ミ書^ヲ學^ブ劍^ヲ平生事。涵養唯期^ス氣節高^キ。我輩欲^レ爲^ス天下士。幾年^ノ暇勉不^レ辭勞。

足立靖

豪健氣風世上聞。彬彬才俊悉超群。螢窓深講東西學。鱗閣遙期翰墨勳。寒曉履霜頻鬪武。秋宵聽雨細論文。隆隆覺運應無極。有似蘇山萬古雲。

咲花一三

絃誦多年此指鍼。遭逢盛典感逾深。諸君更有何歌頌。我亦臨風試一吟。

教授 本田 弘

立田山山彦とよむ聲するは學び子たちの千代まばふなり

本 田 弘

ありし日と今とをくらべて松原のびれバのびる千代の影かな

第十一回創立記念日をほきて

柴 田 貞 一

大丈夫かふみの功業のたつ田山まつも翠をそふるけふかな

第十一回記念日を祝して

木 下 伊 都 磨

あさきりのたつたにしあれば紅葉ときほひてり行くこれの學校



第 十 一 回